

## はじめに

第八高等学校（以下、八高ともいう）は、国内で八番目の高等学校として一九〇八（明治四一）年四月に設置されました。

高等学校といっても戦前の高等学校は今日存在している戦後の高等学校とはかなり異なります。本書で取り上げる第八高等学校のような戦前の高等学校は通常、旧制高等学校（旧制高校）と呼ばれます。一方で、今日存在している高等学校は旧制高校と区別するために新制高等学校（新制高校）と呼ばれることがあります。

両者の基本的な違いを一言で表現すれば、旧制高校が高等教育機関であるのに対して、新制高校は後期中等教育機関であるということになります。今日においても高等教育段階と中等教育段階はさまざまな点で異なっていますが、戦前における高等教育機関は紛れもなくエリート養成機関であり、中等教育段階以下の教育機関とは比較にならないほどの格差がありました。

本書では、新制の名古屋大学に包括された学校の一つである第八高等学校に焦点をあて、同校の創設経緯から廃止に至るまでの歴史を中心に取り上げます。